

# 「全てが必然」



2018. 2. 14

No. 7

校長 川上慎治

## 地域と交流、笑顔あふれる！

1月26日（金）、「早島IGUSAラケット大会」を開催しました。

中学生は、早島町にある「良いもの」をもっとみんなに知ってもらいたい、そして地域の方々と**もっと交流したい**と考え、この大会を企画しました。きっかけは2年生で行った職場体験です。様々な職業を体験する中で、働くことの喜びは、誰かを幸せにしたり、社会に貢献することであることを学び、今の自分たちに何ができるだろうかと考えたことが取組のきっかけとなりました。2年生は11月中旬から大会開催に向け本格的に準備を始めましたが、その間、卓球台の確保や参加者集め、ラケット製作、新聞作成、マスコットキャラクターの制作やCMづくりを含めた広報活動、オープニングセレモニーの太鼓演奏等、どれも初めて取り組むことばかりで、うまくいかなかったことも数多くありましたが、なんとか大会開催までこぎつけました。

大会では参加してくださった**多くの方々のはじける笑顔**に、生徒は「本当に開催して良かった。」と感ずることができ、「**自分たちにもできるんだ**」という**自信も徐々にではあいますが身につけてきた**ように思います。

また、取り組む中で、「い草」に対する愛着が持て、早島の魅力にあらためて気づくことができたとともに、今まで出会ったことのなかった様々な人々からの協力をいた



だき、**多くの方々の温かさに触れることができました**。こういった多くの方々の支えのおかげで大会を成功させることができました。共に取り組み様々な場面でご指導くださったつくぼ商工会の皆様をはじめ、い草ラケット考案者の木曾田さん、共催いただいた早島町及び早島町教育委員会、その他、玉島の森スポーツセンター等、関係各位に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



生徒は、**今後も感謝の気持ちを忘れることなく、中学生の立場から早島の未来を考え、地域に貢献できるよう頑張っていきたい**と考えています。生徒たちが主体的に取り組んだ「早島IGUSAラケット大会」。今後の発展に期待したいと思います。今後ご指導ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

## 給食に込められた思い・・・

1月24日から30日までの一週間は全国学校給食週間となっています。時期は少しずれましたが、2月1日（木）には「給食試食会」を開催し、日頃子供たちがどのような給食を食べているのかを知っていただくために、保護者の方に参加いただきました。



当日のメニューは、キムチラーメン、牛乳、春菊のアーモンドサラダ、いもかりんとうでした。

旬の食材にこだわり、生徒が苦手としている春菊もほうれん草と組み合わせでうまくアレンジし、アーモンドを入れることで食感をよくするなど工夫を凝らしています。そのため生徒は本当によく食べており、保護者にも好評でした。

続いて7日（水）には、健康委員会が中心となって、「給食ができるまでの様子」をビデオにまとめ、生徒集会で放映しました。食い入るように見入っていた生徒たち。食材の受け取りからスタートし、短い時間の中で調理員さんは手際よく作業を進めていきます。おたまを器用に使って混ぜ合わせる作業ぶりは熟練された技で、無駄がありません。400食近い給食をわずか5人のメンバーで作ってくれています。また、熟練された技ではありますが、安心安全な給食を提供するため、作業工程で何度も温度計を使って火の通り具合を確認しています。その他、アレルギー対応の給食にも細心の注意を払って作っている様子がビデオでよくわかりました。日頃何気なく食べている給食ですが、栄養士の先生や調理員さんたちが真心込めて、栄養抜群のおいしく安全な給食を作ってくださっていることがあらためてよくわかりました。

生徒はビデオ視聴後、栄養士の先生や調理員さんに感謝の意を込めてメッセージ（「早中ハート」）を書き、届けました。メッセージの一部を以下に紹介します。

- **皆さんが愛情を込めて作ってくださっているのを見て、苦手なものも頑張って食べようと思います。**皆さんが作ってくださる給食は最高においしいです。
- **いつもおいしい給食をありがとうございます。とても自慢の給食です。**見えない所でめっちゃ必死にしてくださって本当に感動です。これからも体に気をつけて頑張ってください。残り15回位しか食べられないので大事にします。
- **毎日一食一食丁寧に作ってくださり、ありがとうございます。**早島の給食が大好きです。
- **いつも給食を作ってください、ありがとうございます。**毎日、元気になれます。



**感謝の気持ちを忘れず、栄養満点の給食、今後も残さず食べてくださいね！！**